
番外個体さんの話

津雲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

番外個体さんの話

【Nコード】

N6038M

【作者名】

津雲

【あらすじ】

とある魔術の禁書目録を15巻までしか読んでいないのに、番外個体の存在をしまって短時間で書き上げたもの

ヤンデレミサカもいいよね

（前書き）

15巻までしか読んでないので矛盾があるかもしれませんが、ご了承ください

（一応20巻の番外个体が出る箇所は見ていただきます）

目が覚める。

すぐに辺りを見回すが黒翼を広げた一方通行はいない。

その一方通行と戦っていたツンツン頭のあの少年もいない。

その事に番外個体は安堵する。

今のロクに動けない体に色んな意味で一方通行なんていう刺激物は欲しくない。

もちろん今も番外個体の内側では憎悪の感情は消えることなく渦巻いているが。

そして、ツンツン頭の少年には会いたくない。

いや見られたくないが正しい。

第3次製造計画の中でも最初期に造られた存在である番外個体は、製造ロット10032〜20001による旧ミサカネットワークの影響を受けている。

もちろん憎悪の感情を拾う意味でも。

けれど、拾ったのは憎悪だけでない。

ツンツン頭の少年に対する一万弱の感謝や好意も少なからず拾っている。

だから、番外個体は上条当麻に自身を見られたくなかった。

憎悪が中心の醜いひとりのミサカを。

自身が直接的にも間接的にも助けられた存在でもないのにも関わらず。

見られなかった、気づかれなかった、その事にもう一度安堵し、見づからなかった事を疑問に思いながらも番外個体は考える

これからどうすればいいかを。

所詮、番外個体は今回きりで用済みの個体。

学園都市に戻ったところで再利用はない。

それは絶対だ。

元々使い捨てとして造られた上に、体の外部も内部もボロボロの自身を治療するより、新たな第3次製造計画のミサカを生み出す方が費用もかからないのだから。

学園都市に戻ってもいずれ死ぬだけ。

なら、自身以外誰もいないこの場所で再度死ぬよう能力を使うか？いや、それはしない。

一方通行の前でなければ自殺したって何の意味もない。

死ぬか生きるかの選択は、生きる方を選ぶ。

次に生きてどうするか。

今の酷い状態でも能力を応用してある程度は動けるだろう。

どこへ向かう？

そして、誰かに頼るなら、ある程度こちらの事情が通じる相手でないければならない。

絶対能力進化（レベル6シフト）から妹達を救ったあの少年……却

下。

何故見られなかったのに、わざわざ今の番外個体の姿を見せる必要があるだろうか。

オリジナル
お姉様……却下。

芳川桔梗……却下。

……

……………

一方通行……、彼は追い詰められなければ番外個体を殺さないかもしれない。

今回の事で、考えが変わっていないければ。

一方通行を殺す、もしくは徹底的に追い詰めるまでは番外個体は死ねない。

そのために、一時的に最も憎む相手である一方通行のそばにいるのもいいかもしれない。

学園都市第一位と一緒にいれば、殺意がこちらに向かない限りは軍隊に守ってもらうより安全だ。

それに一方通行のそばにいれば、隙を見て殺せるかもしれない。

凶悪な笑みを自然と浮かべながら番外個体は考える。

一方通行の存在によって頼んでもないのに生み出され、一方通行によって殺されかけた。

そして、一方通行によって助けられたこの命。

……アクセラレータヲコロスタメニツカッテヤル。

「ふ、はは、ぎやははは」

笑いながら番外個体は動き出す。
一方通行を追うために。

f i n ?

（後書き）

駄文におつきあいくださりありがとうございました

… 本編ではスルーされてなきや、倒れていたのを上条さんが回収してるかもしれないが気にしません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6038m/>

番外個体さんの話

2010年10月10日00時27分発行